

特別賞

京都府立清明高等学校

京都市北区



建築主

京都府教育委員会

設計者

株式会社環境デザイン研究所

施工者

岡野・かねわ・稲継特定建設工事共同企業体、
植田・洛南特定建設工事共同企業体、
伏見・日新特定建設工事共同企業体、
日本エレベーター製造株式会社

屋根形状や色彩計画による周辺の街並みとの調和や地域に開いた学食カフェ・和室の設置

敷地周辺には勾配屋根の民家が立ち並ぶ住宅街や小学校があるという立地のため、周辺の街並みとの調和を考慮し、シンプルでボリュームを抑えた、落ち着いた色彩の建物とし、勾配屋根の住宅街と連続するような構成としている。

また、地域の方々が気軽に利用できる学食カフェと和室を設け、生徒と地域の方々の交流を促している。校舎中央の中庭スペースは街に向かって大きく開き、昇降口へのアプローチになるとともに、中庭に面する学食カフェへと人々を招き入れるエントランス空間となる。



バルコニー等の室内環境調整空間の確保、通風・換気のしやすい廊下構成

校舎の南側の教室を外壁からセットバックさせてバルコニー空間をつくることにより、夏の強い日差しを妨げ、教室の環境を向上させている。

また、効果的に設けられた吹抜けや、開口部を先端に設けた見通しがよく回遊性のある廊下などにより、換気がしやすく通風を十分に確保できる、快適な環境づくりを行っている。



府内産木材の積極的利用

生徒たちが日々活動を行う体育館の内壁の杉縁甲板や、地域の方も訪れる学食カフェの天井木ルーバー等に府内産材を使用し、あたたかみのあるやさしい雰囲気づくりを行うと共に、環境負荷の低減に配慮している。

